



特別支援教育支援員さんとは？ 特別支援教育コーディネーター ○○○○・○○○○

今年度の八雲小学校は、特別支援コーディネーター2名（○○○○・○○○○）体制でスタートしました。私達は、特別な支援が必要な児童とその保護者の皆様や関係機関との懸け橋となるような取り組みをしております。

今回は、八雲町特別支援教育支援員についてご紹介します。今年度、八雲小学校には8名の支援員が所属しております。八雲町特別支援教育支援員は小・中学校において、校長、教頭、特別支援教育コーディネーター、担任教師と連携の上、次の6つの役割があります。

【具体的には】

① 基本的生活習慣確立のための日常生活上の介助

- ・自分で食べることが難しい児童生徒の食事の準備、必要に応じて身支度の手伝い、食べこぼしの始末。
- ・衣服の着脱の介助。一人でできる部分は見守り、完全にできないところでもできるだけ自分の力で行うよう励ます。
- ・授業場所を離れられない教員の代わりに排泄の介助を行う。

② 発達障害の児童生徒に対する学習支援

- ・読み取りに困難を示す児童生徒に対して、黒板の読み上げを行う。
- ・書くことに困難を示す児童生徒に対して、手助けをする。
- ・聞くことに困難を示す児童生徒に対して、教員の話をつくり返して聞かせる。
- ・学用品など自分の持ち物の把握が困難な児童生徒に対して、整理場所を教える等の介助を行う。



③ 学習活動、教室間移動等における介助

- ・教員の指導補助として、制作、調理、自由遊びなどの補助を行う。

④ 児童生徒の健康・安全確保関係

- ・視覚障害のある指導生徒の場合、体育の授業や図工、家庭科の実技を伴う場面で介助に入り、安全面の確保を行う。

⑤ 運動会（体育大会）、学習発表会、修学旅行等の学校行事における介助

- ・修学旅行や宿泊訓練の時、慣れていない場所での移動や乗り物への乗降を介助する。

⑥ 周囲の児童生徒の障がい理解促進

- ・支援を必要とする児童生徒に対する、友だちとしてできる支援や適切な接し方を、担任と協力しながら周囲の児童生徒に伝える。
- ・支援を必要とする指導生徒の得意な事や苦手な事、理解しにくい行動を取ってしまう理由などを、周囲の児童生徒等が理解しやすいように伝える。

私達は、お子さまがもっている力を最大限に発揮できる方法や環境を整えられるように、保護者の皆様や担任の先生、関係機関の方々と緊密に連携しながら、一人一人のお子さまに寄り添った支援をしていきたいと考えています。ただ、「特別支援」と名がつくと、どうしても保護者の皆様にとっては抵抗感があり、意図しない方向へ話が進んでしまうのではという不安お気持ちは十分承知しております。お子さまとご家族の思いを尊重することを前提に、お子さまにとって今、一番必要で最善の支援と一緒に考えていきたいと考えております。何かお子さまのことで心配なこと、疑問に思っていること、迷っていること等がありましたら、どうぞ気軽に声をかけてください。

夏休み学習会 地域の方が先生に！ ～ 集中して取り組みました ～

7月23日(水)・24日(木)に、CS(コミュニティスクール)主催の(夏休み学習会)が行われました。各学年に地域の方や中学生が先生として教室に入り、集中して学習に取り組む姿が見られました。八雲小学校を卒業した先輩方にも協力いただきました。地域の方の協力があってこそこの夏休み学習会です。大変感謝です。ありがとうございました。学習会に参加したみなさんが、ボランティアとして活躍する姿が今後見られるかもしれません。



みんな、
頑張りました!!

先生方も研修しています！ ～ 「わかる喜び」「できる楽しさ」の授業を目指して ～

7月23日(水)に、教職員を対象に研修が行われました。午前中に校内研修(全員対象)とメンター研修(経験年数が5年以下の先生方)、午後に町内の幼稚園・保育園・関係機関の方々も交えた研修会が行われました。また、25日(金)の午前中にも八雲町学びセミナーという教職員向けの研修が行われました。

長期休業中には、様々な研修が行われます。休みのときだからこそできる研修があります。夏休み明け、きっと何かが変わっている。そう思わせる先生方の熱量でした。このほかにも自主的に研修で遠方へ出向く先生方もいらっしゃいます。学び続ける姿は、大人もチャレンジしています。(下の写真はメンター研修の様子です)



お話しをしないで、好きなラーメンの味ごとに集合!(みそ、醤油、塩を見事なアクションで表現!)



「私のペンネームの由来を説明します。」(構成的グループエンカウターのエクササイズより)



教室掲示、こんな工夫をしています。



6年生の音楽の授業を体験中!(「カップス」というものです)

八雲小の教職員 奮闘！ ～ 津波警報の対応を振り返る ～

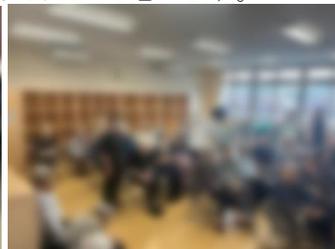
7月30日(水)に、津波警報が発令され、八雲小学校へ避難してきた町民の方がたくさんいました。津波の際、本来は避難場所ではなかったのですが、出勤していた職員で対応にあたりました。

大まかな指示が出た後、各先生方が「屋上に誘導します!」「駐車場にきた車の整理をします!」「掲示物を作成します!」など今必要なことを考え、率先して動く姿がたくさん見られました。ピーク時には200名を超える方が避難していました。何も被害がなかったことが不幸中の幸いでした。

その中で、八雲小学校の教職員の行動力が光りました。今何をすべきか、自分たちで考えて行動に移し、動くことができるチームワーク。避難所を運営する経験はなかなかないのですが、窮地に立たされたときこそ見えてくる姿があります。あらためて、先生方のパワー、熱量を感じた2日間でした。

今回の経験を踏まえて、避難訓練の事前指導などにあたりたいと思います。

↓床に貼りました



9月 行事予定



各学級 時間割

